

競技上の確認事項

競技委員会

1. 競技の進行について

- ・ 競技開始時刻等は別紙「大会日程」に記載の通りとする。
- ・ 設定時刻はプロトコール開始時刻とする。設定時刻を早めることはない。
- ・ 前の試合が設定時刻を越えた場合は、5分間の合同練習後に次の試合のプロトコールを開始する。
- ・ 準決勝戦は前の試合終了後20分、決勝戦は前の試合終了後30分の間をとる。
(設定時刻までに上記の時間がとれる場合は、設定時刻通りにプロトコールを開始する。)
- ・ 原則として選手はフロアに待機することはできない。ただし、次の試合のチームは主審後の壁際に待機することができる。

2. 競技の方法について

- ・ 競技は2016年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- ・ すべての試合は、トーナメント方式による3セットマッチとする。
- ・ 試合球は、男子がミカサ社製カラーボール(MVA400)、女子がモルテン社製カラーボール(V4M5000)とする。
- ・ すべての試合において、WTOを採用する。(別紙参照)

3. エントリーの変更について

- ・ エントリーの変更は、所定の「エントリー変更用紙」に必要事項を記入のうえ、競技副委員長に提出すること。用紙の提出は、代表者会議終了時までとする。

4. 練習について

- ・ 朝のコート練習割当は、別紙「大会日程」に記載された通りとする。割当時間中は、割当チーム以外の練習は不可とする。ただし、中央廊下の下のみ、大会本部や割当チームに支障がない限りボールを使わない練習を認める。周囲に配慮し、譲り合って使用すること。
- ・ 割当時間前はコート整備の時間なので、ボールの使用を禁止する。
ただし、フリーゾーンでボールを使わない練習は可とする。譲り合って使用すること。
- ・ 試合間の練習は、次の試合のチームのみ当該コートで以下の通りの練習を認める。
(1) 設定時刻まで時間がある場合は設定時刻まで、設定時刻を過ぎている場合は5分間。
(2) コート間に防球ネットを設置しているため、当該チームで相談の上、自由な練習を認める。
ただし、周囲のコートにボールが入ることのないよう注意すること。
- ・ セット間は、次の試合のチームのみ練習を可とする。コート使用可。ネット使用不可。
- ・ タイム間は、次の試合のチームのみ練習を可とする。フリーゾーンのみ。ネット使用不可。
- ・ フロア以外(廊下やロビー等)でのボール使用は禁止する。

5. ワイピングについて

- ・ 試合中のワイピングは原則として選手が行う。チームは必要に応じてクイックモップをおくことができる。クイックモップについては別紙を参照のこと。
- ・ 各コートベンチ後方にモップを配置する。チームの責任において、タイム間やセット間に使用してもよい。

6. その他

- ・ ベンチ及びフロアには、有効に登録された監督、コーチ、マネージャー(生徒)及び選手以外は入ることができない。ただし、公式練習以外の練習時は、ボール拾い等のために登録選手以外の当該チーム生徒のフロアへの立入を許可する。
- ・ 監督、コーチ、マネージャーは左胸部にマークを付けること。チームキャプテンは、胸の番号の下に規定のマークを付けること。
- ・ 監督、コーチは統一された服装でベンチに入ること。マナーについては十分留意すること。
- ・ ベンチには、試合に不要なものは一切持ち込まないこと。荷物はベンチの下や後方に整頓して置き、試合の妨げにならないようにすること。
- ・ コートの配置については右図の通りとする。
- ・ 今大会のコートのラインは紺色を使用する。

